

平成27年度部長マニフェスト取組結果

部(局)名	道路公園部
部(局)長名	松本 利久

【達成度について】

A：達成（設定した目標を達成することができた。）

B：一部達成（設定した目標の一部のみ達成することができた。）

C：未達成（目標達成に向け取り組んだものの、目標達成にはいたらなかった。）

重点課題 1	持続可能なインフラマネジメントの推進
--------	--------------------

全体の達成度

B

一部達成

目指すべき方向	道路の適切な維持管理に取り組むため、道路ストック総点検事業の調査結果により作成した維持管理基本計画を基に、舗装更新を行う路線の抽出や事業費の平準化に努めます。公園についても公園施設長寿命化計画に基づいた維持管理を進めていきます。適切な維持管理費用を「まちの固定費」と捉え、「まちの品格」を保つよう適切な維持管理費の確保に努めます。
---------	-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

活動目標
道路ストック（舗装）の補修計画を作成します。
5年毎に近接目視による橋梁点検などの実施が法令により義務付けられたことから、具体的な実施方法を検討します。 また、道路の点検業務について、大阪府による一括発注システムの利用を検討します。
計画的な維持補修を行うために公園施設情報を整理し、随時更新します。
「（仮称）樹木適正管理指針」の策定に向けたデータ整理を行います。

具体的な取組実績
平成26～27年度において、道路ストック（舗装）の補修計画作成のため、対象とする1級市道、2級市道、緊急交通路及び一定の交通量が見込まれるその他の道路、計115.2kmの路面性状調査を実施しました。
大阪府道路メンテナンス会議及び三島地域維持管理連携プラットフォームに出席し、各市との情報交換や情報収集を行いました。これらの情報を基に、一括発注システムの利用について、検討を重ねました。
公園施設長寿命化計画に基づき、4基の遊具を更新及び市民からの要望処理及び日常点検等での公園施設の補修等約2,000件を対処し、情報整理も行いました。
市内街路樹11,955本、公園等樹木7,840本、計19,795本の樹木健全度調査を行い、各樹木のカルテを作成しました。現在、点検結果を分析し、データを整理しているところです。



達成目標
定量的数値による劣化度の判定から、更新路線の優先度を定め、5か年の補修計画を作成します。
効率的、効果的に道路の安全な維持管理に努めます。

達成状況	達成度
道路ストック（舗装）に関して、平成26年度調査結果に基づく補修が必要な区間のうち、局所的破損による補修を除く区間について、5か年の補修計画を作成しました。 平成27年度にも調査を実施しましたが、現在、データの分析中であり、先の5か年の補修計画とあわせた補修計画とする必要があります。	B 一部達成
道路ストック総点検結果に基づき、延長約1.5kmの舗装を更新しました。また、橋梁の耐震補強計画に基づき、五反田橋の補強工事を実施しました。 平成28年度から実施する橋梁点検業務について、大阪府による一括発注システムを利用することを決定、事業実施に伴い大阪府茨木土木事務所、公益財団法人大阪府都市整備推進センターと本市において3者契約を締結しました。	B 一部達成

平成27年度部長マニフェスト取組結果

樹木健全度緊急調査のデータを収集、分析します。予防保全的な維持管理を計画的に進め、市民に危険を及ぼす危険木リスクを最小限に抑えます。



現在、診断結果について分析しているところです。

A

達成

総合評価・総括

日常的に供する道路や橋梁などの社会基盤の急速な老朽化に対し、適切に維持管理していくことは喫緊の課題であり、さらに都市防災力の強化のため、道路の防災、震災対策などを含め、維持管理に終期はありません。今年度、法令や通達に伴う事業に対する目標は、概ね達成できました。引き続き効率的、効果的な維持管理に努めます。

街路樹、公園等樹木を対象とした健全度調査として、「樹木健全度緊急調査」を行いました。今後、予防保全的維持管理へ向けた「(仮称)樹木適正管理指針」の策定を行っていきます。